昭和 49 年度

事 業 報 告 書

自　昭和 49 年 4 月 1 日
至　昭和 50 年 3 月 31 日

社団法人日本病院会
Japan Hospital Association

昭和４９年度事業報告（49.4.1～50.3.31）

社団法人日本病院協会

第1. 庶　　務

1）　昭和４９年度人間ドック実施指定病院　３５病院

2）　5.１８～２０　会長東陽一、事務局長大城三郎中華民国医院行政協会総会に出席

3）　5.２１　金沢市センチュリープラザーでアジア病院連盟常任理事会を開催、日本、韓国、中華民国、フイリピン４カ国出席

4）　5.２２　第２４回日本病院学会を金沢市にて開催、大韓病院協会より４名、中華民国医院行政協会より７名、フィリピン病院協会より１名参加

5）　2.１５～２３　副会長小野田敏郎、参与落合勝一郎、タイ、マレーシア、インドネシヤの病院協会を訪問、アジア病院連盟への加入を勧誘

第2. 陳情、請願

1）　7.３０　診療報酬大幅引上げを９月１日より実施について厚生大臣に要請書提出

2）　１０.２３　病院事業に対し、緊急融資斡旋等に関する陳情書を厚生大臣、大蔵大臣に提出

第3. 会　　議

1. 定期総会

5.２３　金沢市観光会館

1）協議事項

(1)　昭和４８年度事業報告に関する件

(2)　昭和４８年度歳入歳出決算報告に関する件

2. 臨時総会

9.２４　番町共済会館

1）報告事項

(1)　全日病と合同のための定款変更案厚生大臣認可について

(2)　新病院協会設立実行委員会（第１回～第３回）にて合意に達した事項について

2）協議事項

①　新病院協会設立に関する件

(1) 新協会の名称

(2) 設立のための措置

(3) 発足時期

(4) 新法人格取得までの措置

(5) その他

② 新病院協会設立発起人会開催に関する件

(1) 期　日

(2) 会　場

(3) 議　案

(4) その他

3. 臨時総会

3.29　全国町村会館

1）協議事項

(1) 昭和50年度事業計画案に関する件

(2) 会員の年会費額に関する件

(3) 昭和50年度歳入歳出予算案に関する件

(4) その他

4. 常務理事会

4.9　協会々議室

1）協議事項

(1) 厚生省の「差額ベッド規制通達」に関する件

(2) 昭和49年度役員の業務分掌に関する件

(3) 既会員の資格及び会員整理に関する件

(4) 事務局増強に関する件

4.23　協会々議室

1）協議事項

(1) 昭和48年度事業報告に関する件

(2) 昭和48年度歳入・歳出決算に関する件

(3) 役員の業務分掌に関する件

(4) 役員の各地勉強会担当に関する件

(5) 次期学会長、次々期学会長に関する件

(6) 5月23日定期総会に関する件

(7) 病院火災賠償責任保険事務開始に関する件

5.14 協会々議室

1) 協議事項

(1) 渉外委員会新設に関する件

(2) 自動化健診に関する件

(3) 日米病院共済会(仮称)設立に関する件

(4) 病院診療報酬改訂要求額に関する件

5.28 協会々議室

1) 協議事項

(1) 常務理事補充に関する件

(2) 内保連の要望事項に関する件

(3) 病院長セミナーに関する件

6.11 協会々議室

1) 協議事項

(1) 日本病院共済会内規に関する件

(2) 内保連に提出する「日病の入院料要求案」に関する件

(3) 新病院協会設立発起人会に関する件

(4) 新病院協会設立実行委員会に関する件

6.25 協会々議室

1) 協議事項

(1) 内保連への日病代表変更に関する件

(2) 通信教育第1期生の卒業に関する件

(3) 沖縄県病院管理視察に関する件

7.9 協会々議室

2) 協議事項

(1) コンピュータゼミ開催に関する件

(2) コンピュータ委員会設置に関する件

(3) 自動化健診センター認定に関する件

7.2 3　協会々議室

1）協議事項

(1) 来年度臨床検査団海外視察に関する件

(2) 情報委員会に関する件

(3) 実行委員会の権限に関する件

(4) 合同のための定款変更案申請に関する件

(5) 医療費値上げ要請書提出に関する件

8.1 3　協会々議室

1）協議事項

(1) 総婦長セミナーに関する件

(2) 8月31日常務理事会に関する件

(3) 合同に関する事務手続の進め方に関する件

(4) 大阪でのコンピュータゼミ開催に関する件

8.3 1　犬吠崎京成ホテル

1）協議事項

(1) 理事会、評議員会、総会開催に関する件

(2) 75年度・77年度国際病院学会時におけるホスピタルショーに関する件

(3) 全日病学会への後援費に関する件

(4) 制度及研究会委員の出席交通費（旅費）支給に関する件

9.1 0　協会々議室

1）協議事項

(1) 9月24日の全理事会・評議員会・総会に関する件

(2) 新病院会設立発起人会に関する件

1 0.1　番町共済会館

1）協議事項

(1) 新病院会設立に関する件

(2) アジア病院連盟会員勧誘に関する件

(3) 11月、フィリッピンで開催のアジア病院連盟会議出席に関する件

(4) 厚生省栄養審議会委員任期満了に伴う後任委員推薦に関する件

(5) 自動化健診施設の定義と短期人間ドックとの関係に関する件

(6) 診療録管理通信教育部第１期生終了式挙行に関する件

１ 1.9　　ホテル　国際観光

1）協議事項

(1) 定款施行細則に関する件

(2) 新入会員の獲得と旧年度内会費額に関する件

(3) 会員の確認に関する件

(4) 旧年度内事業計画（案）に関する件

(5) 日本病院会ニュース並びに雑誌刊行に関する件

(6) 役員業務分掌（案）に関する件

(7) 昭和５０年度第１回日本病院学会に関する件

(8) 事務所の借入に関する件

(9) 次回常任理事会に関する件

１ 2.2 2　ホテル　国際観光

1）協議事項

(1) 病院ニュース並びに雑誌刊行に関する件

(2) 全理事会開催に関する件

(3) その他

1.2 5　法曹会館

1）協議事項

(1) 常任理事会傍聴者の取扱いに関する件

(2) 役員選挙に関する件

(3) 定期代議員会・定期総会開催に関する件

(4) 昭和５０年度事業計画（案）に関する件

(5) 昭和５０年度歳入・歳出予算（案）に関する件

(6) 昭和４９年度歳入・歳出決算方法に関する件

2.7　　法曹会館

1）協議事項

(1) 日本病院会の運営に関する件

(2) 入会々員の承認に関する件

(3) 短期人間ドック検査項目改訂に関する件

(4) 昭和５０年歳入・歳出予算案に関する件

(5) 昭和５０年度賦課会費額に関する件

(6) 中小病院対策強化に関する件

3.5　　法曹会館

1）協議事項

(1) 役員選挙に関する件

(2) 定期代議員会・定期総会運営に関する件

3.１５　ルビーホール

1）協議事項

(1) 代議員の立候補者に関する件

(2) 理事の立候補者に関する件

3.２１　大阪コクサイホテル

1）協議事項

(1) 役員の選挙に関する件

5. 理事会

１2.２２　ホテル　国際観光

1）協議事項

(1) 日本病院会ニュース刊行に関する件

(2) 沖縄県病院見学研究会に関する件

(3) 第２回コンピュータセミナーに関する件

(4) 福岡における施設研究会に関する件

2.7　　法曹会館

1）協議事項

(1) 日本病院会の運営に関する件

(2) 役員選挙に関する件

(3) 定期代議員会・定期総会開催に関する件

(4) 昭和５０年度事業計画（案）に関する件

(5) 昭和５０年度歳入・歳出予算（案）に関する件

(6) 昭和５０年度会費賦課徴集額に関する件

(7) 昭和４９年度歳入・歳出決算方法に関する件

3.29　日消ホール

1）協議事項

(1) 代議員会、総会の運営に関する件

第4. 部会、研究会

1. 病院診療部会

4.16	東芝林間病院	MEシステムの話
6.18	都立墨東病院	既存の施設を転用した放射線部門の問題点
7.16	東京厚生年金病院	リハビリテーション
8.20	番町共済会館	診療と看護の接点（看護管理部会と合同）
10.15	東京女子医大病院	MEを主とした技術ヘルパー
11.26	虎の門病院	診療分科
1.21	番町共済会館	栄養部門の問題点（組織、運営、設備、診療）（栄養管理部会と合同）

2. 事務管理部会

7.2	番町共済会館	看護婦確保対策の裏表
11.29	番町共済会館	期末手当及び年末年始出勤手当に関する緊急実情報告と意見交換
1.27	番町共済会館	昭和49年病院経営実態調査から見た現在及び今後の経営のポイント
3.14〜15	自治医科大学病院	見学会

3. 庶務人事研究会

5.9	番町共済会館	初任給調査集計結果報告
6.13	番町共済会館	出欠勤管理
9.10〜11	箱根太陽山荘	出欠勤管理の現状と問題点
10.11	番町共済会館	休暇休日の問題点把握
2.13	番町共済会館	院内通達（P・R）について

4. 医事研究会

4.17	番町共済会館	より良いサービスの提供
6.21〜22	熱川ハイツ	策定シリーズ

8.21	番町共済会館	医事課ではかる増収策
12.18	番町共済会館	算定に必要な情報は正しく伝えられているか
3.19	番町共済会館	(1) 週休2日制と医事業務
		(2) 医事業務とコンピュータ

5. 用度研究会

6.21	電設健保会館	価格の調査について
8.23	電設健保会館	医薬品製造技術差
9.12〜13	白十字株式会社	工場見学会
10.18	番町共済会館	東京における病院用度業務の実態
12.13	東芝多摩川工場	レントゲン工場見学会

6. 施設研究会

6.26	自治医科大学病院	病院見学
10.22	番町共済会館	ゴミ処理の問題について
2.26	番町共済会館	建物設備改修に伴なう問題点

7. 会計経理研究会

5.15	番町共済会館	(1) 今後の研究会のあり方及び実施計画について
		(2) 質疑相談タイム
7.17	番町共済会館	採算管理への指標（損益分岐点について）
3.19	番町共済会館	病院における決算処理の方法と問題点

8. 労務研究会

8. 2	番町共済会館	人事考課セミナー
		(1) 人事考課制度について
8.21	番町共済会館	(2) 演習、人事考課表の作成
		(3) 作成した考課表の検討
9.30	番町共済会館	(4) 日病試案の作成

9. 看護管理部会

5. 8	番町共済会館	新入者の職場心理について
7. 2	番町共済会館	看護婦確保対策の裏表

8.2 0	番町共済会院	診療と看護の接点について（患者の記録）
1 2. 3	東京厚生年金病院	栄養部門と看護部門のコミニュケート

1 0. 栄養管理部会

4. 2	関東逓信病院	栄養部門における週休二日制
6. 4	聖路加国際病院	病態栄養講座
		(1) 冠動脈と食事療法
		(2) 腎疾患と食事療法
1 0. 1	国立療養所 中野病院	栄養部門の衛生管理と食器洗浄
1 2. 3	東京厚生年金病院	栄養部門と看護部門のコミニュケート
1.2 1	番町共済会館	栄養部門の問題点（組織・運営・設備・診療）

1 1. 病院管理総合研究会

5.1 8	番町共済会館	(1) 春闘後の中小病院の給与はどうなったか
		(2) 現在争議中の中小病院争議実例
6.1 4	番町共済会館	(1) 中小病院の夏期賞与支給方法について
		(2) 中小病院における夏期賞与の具体的はらづもり
1 2. 7	番町共済会館	(1) 点数改訂後の算定上の諸問題
		(2) 特に中小病院における銀行融資の諸問題
1.1 1 ～1 2	成田市	(1) 医療情報システムの現状と将来の展望
		(2) 経営自己診断の仕方

1 2. 薬事管理部会

6. 5	番町共済会館	最近の錠剤自動包装について
8.2 3	電設健保会館	医薬品購入の考え方
1 0. 2	東京厚生年金病院	調剤の検討（正確な服用のために）
1 2. 4	番町共済会館	医薬分業と第二薬局
2. 7	番町共済会館	(1) 薬剤管理におけるコンピューターの利用法
		(2) 薬剤管理システム設計の要点

1 3. 臨床検査管理部会

6. 7	番町共済会館	(1) 病院検査室の人員の実際と技師の定数化の問題点
		(2) 検査機器の購入及び保守管理について

1 4. 放射線管理部会

6.26	聖マリアンナ医科大学病院	病院組織における放射線技術部門のあり方
8.23	東京厚生年金病院	放射線技師から医師への注文
10.24	日赤医療センター	放射線業務の合理化とそのアイデアについて
12. 6	東邦大学病院	技師の確保とその教育
2.28	茅ケ崎市立病院	放射線科科内会議のあり方

15. 病歴部会

4.20	中央鉄道病院	外来カルテの搬送機と病歴室の見学
4.27	番町共済会館	病歴士に必要な外科学Ⅱ
5.25	番町共済会館	病歴士に必要な外科学Ⅲ
6.15	番町共済会館	病歴士に必要な病院管理学
7. 6	聖マリアンナ医科大学付属病院	病歴室見学他
9.14	番町共済会館	病歴士に必要な婦人科学(1)
10.29	関東逓信病院	コンピュータと病歴室の見学
11.16	一番町セントラルビル	病歴士に必要な婦人科学(2)
12.14	聖路加国際病院	医師と診療記録管理
1.11	番町共済会館	ハワイ病院病歴室見学旅行報告
2. 8	番町共済会館	病歴士に必要な解剖学Ⅱ
3.22	東医健保会館	病歴士に必要な解剖学Ⅲ

16. ハウスキーピング部会

4.24	慶応大学病院	ユニフォームのリース
6.26	都立豊島病院	ヨーロッパの病院とハウスキーピング
8.28	北里大学病院	消毒の実際
10.22	番町共済会館	ごみ処理の問題
2.26	関東逓信病院	今後の病衣について

17. 調理研究会

5.15	日本水産八王子食品工場	冷凍食品工場の見学
9.11	国立病院医療センター	職場内における人間関係、適温給食、衛生管理
11.13	河北病院	患者さんに喜ばれる料理
1.22	東京衛生病院	患者さんに喜ばれる料理
3.12	済生会中央病院	患者さんに喜ばれる料理

第５　各地研究会

1. 病院診療研究会

9.２０～２１　岐　阜　市

(1) 医療の実態と病院財政

(2) 救急医療について

(3) 当病院ＥＤＰＳ化の経緯と将来の展望

(4) 病歴の価値とその管理について

2. 事務管理研究会

7.２７～２８　札　幌　市

(1) 最近の出来事から見た病院状況の分析

(2) 看護部門からの要望と対処

(3) 資金繰対策の実際

(4) グループ討議

危機的状況の下で医師の協力をどう取りつけるか

(5) 幹部職員の管理力をどう高めるか

(6) 地域からの援助を獲得する方法

(7) 助かる病院とたすからない病院

(8) シンポジューム

中小病院の役割と進路

1.２４～２５　鹿　児　島　市

(1) １０月医療費改訂の特徴と影響率

(2) 曲り角に来た病院経営と今後の見とおし

(3) 病院危機下に要求される事務長のはたらき

(4) 計算に基づく経営改善の進め方

(5) 管理者に必要な病院における人間関係のポイント

(6) グラフを活用した各部門の目標管理

(7) 中小病院における労使関係で問題になる労基法

(8) 院長から見た期待される看護婦像

(9) シンポジューム

二・八、週休２日制に対処する看護勤務体制

3. 庶務人事研究会

10.31 ~11. 1	新潟市	(1) 出欠勤管理の問題点 (2) 正規時間中の勤務管理 (3) 自己申告制による出欠勤管理 (4) 出欠勤管理と賞与の結びつきはどうか (5) グループ討議 (6) 効果的な超勤管理

4. 労務研究会

10.15 ~16	奈良市	(1) これからの人事考課制度 I (2) これからの人事考課制度 II (3) 週休2日制と看護勤務体制 I (4) 週休2日制と看護勤務体制 II (5) 週休2日制と看護勤務体制 III (6) 全体討議

5. 医事研究会

7.19 ~20	熊本市	(1) より良いサービスの提供 (2) 週休2日制と医事業務 (3) 医事課ではかる増収率 (4) 算定シリーズ
10.21 ~22	秋田市	(1) 算定に必要な情報は正しく伝えられているか (2) 他部門からの医事課への要望 (3) 病院危機対策 (4) 医事課ではかる増収策

6. 用度研究会

11.20 ~21	下関市	(1) 病院の危機について (2) 用度業務に関する調査報告 (3) 用度業務のあり方及びそのコミュニケーション (4) 医療品の購入について (5) 機械備品管理と原価計算 (6) リース、レンタル及び外注について

(7) グループ討議と発表

7. 会計経理研究会

6.26～27	仙台市	(1) 医業収益（医療収入）計上の原理と実務
		(2) グループ討議
		(3) 経営分析の指標
		(4) 源泉課税の問題点
		(5) 資金繰表の実務

8. 施設研究会

11.28～29	福岡市	(1) 施設管理の地方別に見た現況
		(2) ガス滅菌装置の適正使用法と最新式滅菌装置の紹介
		(3) 増員せずに施設課に導入した週休2日制の実施例
		(4) ミーティングを利用した現場職員教育について
		(5) 完全空調の経費計算と患者への影響と問題点
		(6) 液体酸素へ切替える場合の各種問題点とメリット
		(7) 衛生設備関係のトラブルとその対策について
		(8) 熱気部門の空調の条件・解決策・効果
		(9) グループ討議（病院施設改修の問題点と対策）

9. 看護管理研究会

7.18～19	福井市	(1) 異次元の生活
		(2) 卒後教育にのぞむ
		(3) 院内教育の重要性
		(4) 日本病院協会看護管理部会の活動
		(5) シンポジューム〔現任教育とリーダーのあり方〕
		(6) 卒後教育を進める基盤について
10.14～15	徳島市	(1) シンポジューム（勤務休制の問題点を考える）
		(2) 看護と管理
		(3) リーダーシップ
		(4) 週休2日制をこころみて

10. 栄養管理研究会

6. 2 ～3	札幌市	(1) 栄養部門の労務管理（週5日制勤務について） 病院長の立場として 栄養部門の事務の立場として 栄養部門の栄養士の立場として (2) これからの病院給食 (3) 病態栄養講座 腎不全と食事療法 腎不全の食事療法とその実際 映画 (4) 栄養部門と看護部門の連けい 看護部門の立場として 栄養部門の立場として (5) 栄養管理（グループ討議） 事務管理 労務管理 栄養指導

11. 病院管理総合研究会

7. 12 ～13	松本市	(1) 最近の労働争議の実例 (2) 病院給食の問題点 (3) 病院関係税制と対策 (4) 看護婦の定着性 (5) 地域医療における病院の役割
2. 13 ～14	京都市	(1) 病院医療の近代化と問題点 (2) 中小病院の病棟業務のあり方 (3) 患者の安全管理 (4) 医事課で出来る増収対策 (5) 中小病院の計画運営 (6) 昭和50年度の病院財政を考える

12. 薬事管理部会

11.14 ～15	広　島　市	(1) 注射薬の混合について (2) 滅菌と消毒 (3) 薬剤と臨床検査 (4) 調剤薬の保存

13. 放射線管理研究会

6. 7 ～8	松　山　市	(1) 院長から見た放射線科技師への期待 (2) 専門医から見た放射線技師への期待 (3) 最近に於ける消化管X線検査の動向 (4) 放射線技師のマナー (5) 放射線科医長と技師長のコミュニケーション (6) 明日からすぐ役立つ放射線医学
9.14 ～16	御殿場市	第5回放射線技師監督者研修会 (1) 患者の心理 (2) 病院経済の現状と今後の見通し (3) 医戒 (4) 技師の管理者及び監督者としての職責 (5) 医療従事者としての心構え (6) 技師の適性 (7) MTFによるX線像の解析とその臨床

14. 臨床検査管理研究会

9.13 ～14	大　阪　市	(1) 検査室の運営と管理 (2) 技師研修のあり方 (3) 業務分担と改善 (4) 検査技師定数化の問題点 (5) 検査事故について (6) 業務感染について
11.30 ～12. 1	鴨　川　市	(1) 病院検査部の運営について (2) 日常の検査業務と研究のかかわりあい

1 5. 病歴管理研究会

9.2 7 松　江　市

(1) 病歴室の病院における立場

(2) 病歴室設置に対しての問題点

(3) 診療記録管理士養成についての諸問題

(4) 診療記録管理士の日常業務

(5) 病院における各部門との関連

(6) 質疑応答

1 6. ハウスキーピング研究会

1 1. 9 名　古　屋　市

(1) ハウスキーピング部門の業務管理

(2) 廃棄物の回収と処理

(3) 洗剤の基本的知識

(4) 床の手入れ

(5) 消毒の実際

(6) 防炎規制とリネン

1 7. 調理研究会

7.1 9 岡　山　市

(1) 病院調理の特殊性と調理師業務

(2) 病院調理作業の標準化

(3) グループ討議

給食作業における人間関係

適温給食

衛生管理

人間関係

(4) 病院給食のあり方

第6 セミナー

1. 病院長セミナー

7. 5 ～6	東京都	(1) 病院管理者の機能 (2) 救急医療について考える (3) 医療労働力の動向 (4) 病院におけるトップマネジメント (5) 病議の問題 (6) 病院組織における専門職種

2. 事務長セミナー

9.19 ～20	東京都	(1) 看護の問題点 (2) 中規模病院経営の問題点 (3) 病院管理の今後のあり方 (4) 労務管理の体験 (5) 病院における労務管理の問題点 (6) 病院運営管理組織の問題点 (7) 病院管理におけるリスク・テクニックの活用 (8) シンポジューム 病院の危機について (9) 日本の医療はどうなるか

3. 臨床検査セミナー及び実地講習会

1.25	東京都	(1) 酵素測定における Reaction Rate Analyjer の役割 (2) Flow-Volume-Curve による肺機能検査の意義 (3) Vector 心電図の意義 (4) マンモグラフィーの意義

4. コンピュータ・セミナー

8.28 ～29	東京都	(1) 低医療費下に病院危機を救うにはコンピュータの導入しかない (2) 漢字コンピュータによる請求明細書 (3) コンピュータ導入について

		(4) コンピュータ概論
		(5) コンピュータ導入の苦心談
		(6) コンピュータの未来像
11.13 ~14	大阪市	(1) 病院の経済危機を救うには、コンピュータの導入しかない
1.29 ~30	福岡市	(2) コンピュータ導入
3.12	名古屋市	(3) アメリカ病院におけるコンピュータの共同利用
		(4) コンピュータ導入の実際
		(5) コンピュータの未来像

第7. 委員会

1. 病院制度委員会

4.22	協会会議室	病院組織における看護婦の勤務体系
5.16	協会会議室	(1) 看護業務
		(2) 勤務交代制
		(3) 病院組織における看護勤務の問題点
6.24	協会会議室	(1) 看護業務
		(2) 勤務交代制
		(3) 病院組織における看護勤務の問題点
7.22	協会会議室	看護業務、勤務の交代制、病院組織における看護体系等の問題点
9.9	協会会議室	看護業務、勤務交代制、病院組織における看護勤務体系等について
10.7	協会会議室	看護婦と看護制度のまとめ
11.11	協会会議室	病院危機の分析と対策
12.2	協会会議室	病院危機の分析と対策
1.13	協会会議室	病院危機の分析と対策
2.10	協会会議室	病院の公的援助

2. 経済委員会

9.10	番町共済会館	(1) 医療費緊急是正諮問案

		(2) 全国公私病院連盟調査による経営主体別経営実体について
		(3) 銀行資金融資について
12.22	国際観光ホテル	(1) 病院事業融資斡旋に関する陳情結果
		(2) 病院経営現状のPR活動について

3. 医師対策委員会

6.14	協会会議室	49年度の計画について
8.15	協会会議室	医療労働力について

4. 臨床予防医学委員会

9.26	協会会議室	(1) 人間ドックの運営
		(2) 質問表の改訂
		(3) 人間ドック使用料の改訂について
		(4) 人間ドック学会会則の改正について
10.14	協会会議室	(1) ドック利用料
		(2) 検査項目の改訂
		(3) 臨床検査セミナー
		(4) 人間ドック学会会則の件
11. 2	協会会議室	(1) 検査項目の改訂
		(2) 臨床検査セミナー
		(3) 人間ドック学会
12.21	協会会議室	(1) 検査項目の改訂
		(2) 臨床検査セミナー
		(3) 人間ドック学会

5. 国際会議委員会

5.11	番町共済会館	経過報告と募金、組織作りについて
7.23	番町共済会館	(1) 会議屋の選定について
		(2) 業務分担について
		(3) 予算案について
9.10	協会会議室	募金額及び募金方法について
10. 1	協会会議室	(1) 募金の件について

		(2) 全般の計画について
12. 3	番町共済会館	(1) 学会下請について
		(2) 学会計画について
1.18	番町共済会館	(1) コンベンションの見積りの詳細なる内容説明
		(2) 契約の問題について
2.22	番町共済会館	募金について
3. 5	法曹会館	募金について
3. 8	番町共済会館	(1) 先般アジアを回った報告
		(2) 契約について
5.17	番町共済会館	ザグレブ国際会議の件について

6. 編集委員会

毎月1回　12回開催

病院会雑誌　1月～12月　発行

7. コンピュータ委員会

8. 1	協会会議室	コンピュータ委員会の運用について
9. 5	番町共済会館	コンピュータシステム化の問題点
10. 1	番町共済会館	システム化の問題点
11.28	番町共済会館	コンピュータ化の問題点
12.26	番町共済会館	(1) 診療報酬請求の際のコンピュータ導入の障害排除
		(2) 処方レセプト表示の標準化
1.24	番町共済会館	(1) 診療報酬請求の際のコンピュータ導入の障害排除
		(2) 処方レセプト表示の標準化
2.25	番町共済会館	(1) 診療報酬請求の際のコンピュータ導入の障害排除
		(2) 処方レセプト表示の標準化

第8. 内科臨床協議会

4. 1 ～3.31	三楽病院他24病院において24回 joint conference 開催

第 9. 診療録管理通信教育部

東 京 地 区

4.2 0	中央鉄道病院	外来カルテの搬送機と病歴室の見学
4.2 7	番町共済会館	病歴士に必要な外科学Ⅱ
5.2 5	番町共済会館	病歴士に必要な外科学Ⅲ
6.1 5	番町共済会館	病歴士に必要な病院管理学
6.2 2	一番町セントラルビル	医学用語学(1)
7. 6	聖マリアンナ医科大学附属病院	病歴室見学他
7.2 0	一番町セントラルビル	医学用語学(2)
8. 3	一番町セントラルビル	医学用語学(3)
8.2 2	佼成高等看護学院大講堂	集中スクーリング(解剖学・産科学)
8.2 3	佼成高等看護学院大講堂	集中スクーリング(内科学・生理学)
8.2 4	佼成高等看護学院大講堂	集中スクーリング(小児科学・外科学)
8.2 5	佼成高等看護学院大講堂	期末試験(第1・3期生)
8.2 6	佼成高等看護学院大講堂	集中スクーリング(診療録管理学通論)
8.2 7	佼成高等看護学院大講堂	集中スクーリング(目録法)
8.2 8	佼成高等看護学院大講堂	集中スクーリング(分類法)
9.1 4	番町共済会館	病歴士に必要な婦人科学(1)
1 0.1 9	霞山会館	認定証授与式(第1回卒業生)
1 0.2 9	関東逓信病院	コンピュータと病歴室の見学
1 1.1 6	一番町セントラルビル	病歴士に必要な婦人科学(2)
1 2.1 4	聖路加国際病院	医師と診療記録管理
1.1 1	番町共済会館	ハツイ病院病歴室見学旅行報告
1.2 5	番町共済会館	病歴士に必要な解剖学Ⅰ
2. 8	番町共済会館	病歴士に必要な解剖学Ⅱ
2.2 0	公立学校共済組合本部	集中スクーリング(解剖学・産科学)
2.2 1	公立学校共済組合本部	集中スクーリング(内科学・外科学)
2.2 2	公立学校共済組合本部	集中スクーリング(生理学・小児科学)
2.2 3	東医健保会館	期末試験(第2・4期生)
2.2 4	食糧会館	集中スクーリング(統計学・分類法実習)

2.2 5	食糧会館	集中スクーリング（診療録管理学通論・目録法）
2.2 6	公立学校共済組合本部	集中スクーリング（分類法総論・診療録管理室運営）
3. 8	東京トラック事業健保会館	分類法
3.2 2	東医健保会館	病歴士に必要な解剖学Ⅲ

近 畿 地 区

4.2 0	大阪鉄道病院看護学園講堂	病歴士に必要な内科学（呼吸器疾患(1)）
5.1 8	大阪鉄道病院看護学園講堂	病歴士に必要な内科学（呼吸器疾患(2)）
6.1 3	京都府医師会館	第２２回近畿病歴管理セミナー
6.1 5	大阪鉄道病院看護学園講堂	病歴士に必要な内科学（呼吸器疾患(3)）
6.2 9	大阪逓信病院	医学用語学(1)
7. 6	大阪逓信病院	医学用語学(2)
7.2 0	大阪鉄道病院看護学園講堂	病歴士に必要な内科学（消化器疾患(1)）
8.1 7	大阪鉄道病院看護学園講堂	病歴士に必要な内科学（消化器疾患(2)）
8.2 2	大阪逓信病院	集中スクーリング（解剖学・生理学）
8.2 3	大阪逓信病院	集中スクーリング（内科学・外科学）
8.2 4	大阪逓信病院	集中スクーリング（産科学・小児科学）
8.2 5	大阪逓信病院	期末試験（第１・３期生）
8.2 6	大阪逓信病院	集中スクーリング（分類法）
8.2 7	大阪逓信病院	集中スクーリング（診療録管理学通論）
8.2 8	大阪逓信病院	集中スクーリング（目録法）
9.1 8	日本生命本社講堂	第２３回近畿病歴管理セミナー
9.2 1	大阪鉄道病院講堂	病歴士に必要な内科学（消化器疾患(3)）
1 0.1 9	大阪鉄道病院講堂	病歴士に必要な内科学（循環器疾患(1)）
1 1.3 0	大阪鉄道病院講堂	病歴士に必要な内科学（循環器疾患(2)）
1 2.2 1	大阪鉄道病院講堂	病歴士に必要な内科学（循環器疾患(3)）
1.2 5	福井県立病院	第２４回近畿病歴管理セミナー
2.2 0	大阪逓信病院	集中スクーリング（解剖学・生理学）
2.2 1	大阪逓信病院	集中スクーリング（内科学・外科学）
2.2 2	大阪逓信病院	集中スクーリング（小児科学・産科学）
2.2 3	大阪逓信病院	期末試験（第２・４期生）

2.24	大阪逓信病院	集中スクーリング（分類法総論・診療録管理室運営）
2.25	大阪逓信病院	集中スクーリング（分類法実習・統計学）
2.26	大阪逓信病院	集中スクーリング（診療録管理学通論・目録法）

名古屋地区

4.20	名古屋大学医学部附属病院	統計学
5.18	名古屋大学医学部附属病院	病歴士に必要な医学用語
6. 8	名古屋大学医学部附属病院カルテ部	病歴士に必要な生理学
7.13	名古屋大学医学部附属病院共済団	病歴士に必要な内科学(1)
8.25	名古屋大学医学部附属病院共済団	期末試験（第１・３期生）
8.31	名古屋大学医学部附属病院共済団	病歴士に必要な内科学(2)
9.21	名古屋大学医学部附属病院共済団	病歴士に必要な外科学(1)
10.12	名古屋大学医学部附属病院共済団	病歴士に必要な外科学(2)
11.16	名古屋大学医学部附属病院共済団	病歴士に必要な産婦人科学(1)
12.21	名古屋大学医学部附属病院共済団	病歴士に必要な産婦人科学(2)
1.25	名古屋大学医学部附属病院共済団	病歴士に必要な解剖学(1)
2.22	名古屋大学医学部附属病院共済団	病歴士に必要な解剖学(2)
2.23	名古屋大学医学部附属病院共済団	期末試験（第２・４期生）
3.29	名古屋大学医学部附属病院共済団	病歴士に必要な小児科学(1)

仙台地区

7.27	宮城県立成人病センター	病歴士に必要な消化器の知識と消化器病学
9.21	東北大学病院臨床研究室	診療録管理上の問題点について、他
10.26	東北大学病院臨床研究室	病歴士のための内科学
11.16	東北大学医学図書館	病歴士のための産科学
12. 7	東北大学医学図書館	国際傷病・死因分類（ＩＣＤ）の成り立ちと使用法の実際
3.15	宮城県立成人病センター	統計と衛生統計、他

第10. 病院監督者研修会

6.16～21	湯河原	(1) 組織と監督者 (2) 仕事の管理

		(3) 仕事の改善
		(4) 部下の研修
		(5) リーダーシップ
		(6) 事例研究
		(7) 組織づくり
10. 7 ～13	東　京　都	(1) 組織と監督者
		(2) 仕事の管理
		(3) 仕事の改善
		(4) 部下の研修
		(5) リーダーシップ
		(6) 事例研究
		(7) 組織づくり
2.12 ～14	大　阪　市	(1) 組織と監督者
		(2) 仕事の管理
		(3) 仕事の改善
		(4) 部下の研修
		(5) リーダーシップ
		(6) 事例研究
		(7) 組織づくり

第 11. 病院管理視察研究会

1. 三重、奈良県病院視察研究会

6.21 ～22	津　市	遠山病院
	天　理　市	天理よろづ相談所病院

2. 沖縄県病院視察研究会

11.14 ～17	沖縄赤十字病院、琉球大学付属病院、県立中部病院、県立名護病院、県立八重山病院

第 12. 海外病院視察団研究会

1. ヨーロッパ病院視察研究団

8. 7 ～23	ヘルシンキ、ストックホルム、ハンブルグ、デュッセンドルフ、ロンドン、リスボン、マドリード、パリー各市病院見学

2. 第1回ヨーロッパ放射線視察団

9.30 ～10.13	ロンドン、パリ、フランクフルト、ハンブルグ、コペンハーゲン、アムステルダム各市病院見学

3. アメリカ西海岸看護視察研究団

10.13 ～24	サンフランシスコ、ロスアンゼルス、ホノルル各市病院見学

第 13. 日本病院学会、ホスピタルショー

1. 第24回日本病院学会

5.22 金沢市観光会館
～24

2. 第4回ホスピタルショー

5.23 東京都晴海
～25

第 14. 第15回人間ドック学会

8.23 私学会館 ～24	(1) 健康と病気 — 正常値と異常値 (2) ブドウ糖経口負荷試験の境界型の意義 (3) 老年者の年代区分 (4) その他一般演題

第 15. 図書出版

9. 1 保健叢書 「肥満」 5000部 発行

昭和４９年度歳入歳出決算書

自　昭和４９年４月　１日
至　昭和５０年３月３１日

歳入総額　　９２,７８１,３５３円

歳出総額　　９２,７８１,３５３円

差引額　　――――――

社団法人　日本病院協会

歳入の部

歳入科目	歳入額 円	予算額 円	予算に対する増減（△減）	摘要
Ⅰ 会費	３７,４９３,０２５	３５,８９３,０００	１,６００,０２５	
(1) 本年度会費	３６,７４７,０６５	３５,４２５,０００	１,３２２０６５	
(2) 過年度会費	７４５,９６０	４６８,０００	２７７,９６０,	
Ⅱ 寄付金	４００,０００	４００,０００	――――	
(1) 学会への寄付金	４００,０００	４００,０００	――――	
Ⅲ 雑収入	５１,６１３,１１０	４５,５５９,０００	６,０５４,１１０	
(1) 委員会	１１,２００,２３０	９,４８４,０００	１,７１６,２３０	
ドック部会費	３,４３２,０００	３,３８４,０００	４８,０００	
〃 過年度会費	３０,０００	――――	３０,０００	
〃 指定料	２,１５０,０００	６００,０００	１,５５０,０００	
〃 手帳代	５,５８８,２３０	５,５００,０００	８８,２３０	
(2) 定例研究会	２,２６８,７００	２,７７９,０００	△ ５１０,３００	
研究会参加費	１,６１７,７００	２,１１８,０００	△ ５００,３００	
事務部会費	５４０,０００	５５０,０００	△ １０,０００	
〃 過年度分	１５,０００	――――	１５,０００	
内科臨床部会費	９６,０００	１１１,０００	△ １５,０００	
(3) 各地研究会	１４,０９４,２４０	１３,９５９,０００	１３５,２４０	
研究会参加費	１３,１０８,２４０	１３,２８４,０００	△ １７５,７６０	
海外視察研究会費	９８６,０００	６７５,０００	３１１,０００	

歳入科目	歳入額 円	予算額 円	予算に対する増減（△減）	摘要
(4) セミナー	10,478,800	9,960,000	518,800	
参加会費	10,478,800	9,960,000	518,800	
(5) 雑誌収入	6,469,640	4,947,000	1,522,640	
発送諸費	1,295,360	1,347,000	△ 51,640	
広告料	5,174,280	3,600,000	1,574,200	
(6) 病院ニュース収入	794,000	1,700,000	△ 906,000	
発送諸費	94,000	500,000	△ 406,000	
広告料	700,000	1,200,000	△ 500,000	
(7) 其他	6,307,500	2,730,000	3,577,500	
預金利子	993,885	450,000	543,885	
其他	5,313,615	2,280,000	3,033,615	
収入計	89.506,135	81,852,000	7,654,135	
Ⅳ 前年度より繰越金	3,275,218	1,000	3,274,218	
前年度より繰越金	3,275,218	1,000	3,274,218	
合計	92,781,353	81,853000	10,928,353	

歳出の部

歳出科目	歳出額 円	予算額 円	予算に対する増減（△減）	摘要
I 事務費	35,110,868	26,663,000	8,447,868	
(1) 職員給与	20,043,250	18,055,000	1,988,250	
俸給	12,744,600	11,613,000	1,131,600	
諸手当	7,298,650	6,442,000	856,650	
(2) 厚生費	5,859,618	1,558,000	4,301,618	
(3) 旅費交通費	1,552,860	884,000	668,860	
(4) 物品費	1,980,917	510,000	1,470,917	
備品	1,326,437	100,000	1,226,437	
消耗品	654,480	410,000	244,480	
(5) 事務所費	5,674,223	5,656,000	18,223	
印刷、製本費	839,358	980,000	△ 140,642	
通信、運搬費	1,178,586	1,100,000	78586	
雑費	790,231	760,000	30,231	
借料、損料	2,866,048	2,816,000	50,048	
II 会議費	4,962,880	3,971,000	991,880	
(1) 総会	474,065	590,000	△ 115,935	
(2) 役員会	2,822,023	1,881,000	941,023	
(3) 諸会議費	1,666,792	1,500,000	166,792	
III 事業推進費	32,653,267	27,000,000	5,653,267	
(1) 委員会	5,746,590	4,292,000	1,454,590	
年度委員会	2,027,586	960,000	1,067,586	
人間ドック	3,719,004	3,332,000	387,004	
(2) 研究会	25,575,452	21,838,000	3,737,452	
イ、定例研究会	2,279,991	2,425,000	△ 145,009	
交通費	90,920	100,000	△ 9,080	
印刷、製本	261,535	190,000	71,535	
通信、運搬	403,325	600,000	△ 196,675	研究会、セミナーの項の
其他	1,524,211	1,535,000	△ 10,789	其他は

歳出科目	歳出額 円	予算額 円	予算に対する増減（△減）	摘要
ロ、各地研究会	16,304,932	12,926,000	3,378,932	会場借上料講師謝礼金昼食及打合会費、懇親会費を計上
旅費、交通	3,981,242	3,750,000	231,242	
印刷、製本	1,949,711	1,500,000	449,711	
通信、運搬	803,000	1,114,000	311,000	
其他	8,555,244	5,982,000	2,573,244	
海外視察研究会	1,015,735	580,000	435,735	
ハ、セミナー	6,990,529	6,487,000	503,529	
旅費、交通	773,640	250,000	523,640	
印刷、製本	797,480	650,000	147,480	
通信、運搬	282,045	355,000	△ 73,000	
其他	5,137,364	5,232,000	△ 94,636	
(3) 資料整備費	205,780	120,000	85,780	
(4) 渉外雑費	368,000	350,000	18,000	
(5) 外国病院協会招待費	757,445	400,000	357,445	
Ⅳ 学会助成費	1,500,000	1,500,000	—	
(1) 日本病院学会	1,100,000	1,100,000	—	
(2) ドック学会	400,000	400,000	—	
Ⅴ 広報費	13,259,806	18,639,000	△5,379,194	
(1) 雑誌発行費	11,460,158	13,669,000	△2,208,842	
編集費	1,326,174	1,835,000	△ 508,826	
印刷費	8,681,874	9,792,000	△1,110,126	
発送費	1,342,470	1,942,000	△ 599,530	
編集雑費	109,640	100,000	9,640	
(2) 病院ニュース発行費	1,799,648	4,970,000	△3,170,352	
編集費	72,240	210,000	△ 137,760	
印刷費	756,050	2,070,000	△1,313,950	
発送費	971,358	2,640,000	△1,668,642	
編集雑費	—	50,000	△ 50,000	
Ⅵ 諸会費	2,326,560	3,080,000	△ 753,440	

歳出科目	歳出額 円	予算額 円	予算に対する増減（△減）	摘要
(1) 国際病院連盟	566,860	500,000	66,860	
(2) アジア 〃	152,000	450,000	△ 298,000	
(3) 全国公私 〃	1,476,000	2,000,000	△ 524,000	
(4) 其他	131,700	130,000	1,700	
Ⅶ 其他	—	1,000,000	△1,000,000	
予備金	—	1,000,000	△1,000,000	
計	89,813,381	81,853,000	7,960,381	
Ⅷ 繰越金	2,967,972	—	2,967,972	
翌年度へ繰越金	2,967,972	—	2,967,972	
合計	92,781,353	81,853,000	10,928,353	

上記について監査したところ相違ないことを認めます。

昭和50年4月30日

監事　五十嵐　衡 ㊞

監事　大野松次 ㊞

財　産　目　録

昭和５０年３月３１日現在

資産の部

現金	手元保有高	1,436,848
振替貯金	麹町郵便局	178,794
銀行貯金	富士銀行　麹町支店	1,352,330
電話加入権	265−0077 265−0078 265−0079	112,592
什器備品		1,505,444
資産合計		4,586,008

什器、備品内訳

品名	単位	数量	価格円	備考
机	個	9	210,920	
側机	〃	7	115,810	
椅子	脚	46	198,540	
長机	個	15	161,100	
書棚	〃	6	60,400	
衝立	〃	1	12,000	
ロッカー	〃	3	38,830	
カーテン	枚	6	50,074	
両開書庫	個	1	24,800	
雑誌架	〃	2	77,000	
宛名印刷機	台	1	295,000	
スライド・映写機	〃	2	56,600	
食器棚	個	1	10,900	
黒板	〃	1	21,000	
録音器	〃	3	79,170	
時計	〃	2	8,100	
写真機	台	2	54,800	
トランヂスターラジオ	〃	1	6,400	
電子計算機	〃	1	24,000	
計			1,505,444	

昭和４９年度出版部収支決算書

自　昭和４９年４月　１日
至　昭和５０年３月３１日

社団法人 日本病院協会出版部

収入総額　5,955,819円
支出総額　5,955,819円
差引額　――――――

収支科目	金額	摘要
収入総額	5,955,819	
1) 本年度収支高	2,331,740	
図書売上高	1,951,965	
雑収入	379,775	
2) 前年度より繰越金	3,624,079	
支出総額	5,955,819	
1) 本年度支出高	4,024,697	
図書発行高	2,121,977	
販売諸掛他	268,720	
人件費その他	1,634,000	
2) 翌年度へ繰越金	1,931,122	

上記について監査したところ相違ないことを認めます。

昭和５０年４月３０日

監事　五十嵐　衡　㊞
監事　大野松次　㊞

昭和49年度図書売上明細表

社団法人 日本病院協会出版部

図書名	売上高		
	部数	金額	
母親学級テキスト	3731	593,760	
保健叢書	6369	346,015	
病院学	5	16,030	
人間ドック	69	126,720	
監督者のために	119	110,040	
健保組合符号簿	489	285,270	
医事業務	18	16,520	
ヨーロッパの看護をたずね	43	34,400	
アメリカの病院事務管理	39	19,500	
アメリカの病院看護 3	10	2,000	
アメリカ、ヨーロッパの看護	38	7,560	
病院ハウスキーピング	236	394,150	
計	11,166	1,951,965	

特別会計

昭和４９年度退職積立金
収支決算書

自　昭和４９年４月１日
至　昭和５０年３月３１日

社団法人　日本病院協会

収入総額　3,850,000
支出総額　3,850,000
差引額　――――

収支科目	金額円	摘要
収入総額	3,850,000	
1.　48年度より繰越金	3,850,000	
支出総額	3,850,000	
1.　本年度支出額	3,850,000	
差引額	――――	

上記について監査したところ相違ないことを認めます。

昭和５０年４月３０日

監事　五十嵐　衡　㊞

監事　大野松次　㊞

昭和50年度日本病院会事業計画（案）

1. 病院関係者の教育指導・養成に関する事項
   (1) 管理者層の教育指導
       病院長・事務長・総婦長セミナー
   (2) 監督者・中堅層の教育指導
   (3) 地域別による病院関係者の教育指導
   (4) 各種委員会別による病院関係者の教育指導
   (5) 診療録管理士の養成
2. 病院学会開催に関する事項
   (1) 第1回日本病院学会の開催
       日　時　：　50.5.21（水）〜23（金）
       場　所　：　東京都・普門館
   (2) 国際モダンホスピタルショ　（75年）の開催
       日　時　：　50.5.16（金）〜20（土）
       場　所　：　東京都・晴海
   (3) ドック学会の開催
       日　時　：　50.8.22（金）〜23（土）
       場　所　：　久留米市・久留米医科大学
3. 国際病院学会（1977年）開催準備に関する事項
       日　時　：　52.5.22（日）〜27（金）
       場　所　：　東京都・ニューオータニ
4. 病院管理運営に関する事項
   (1) 国内における病院視察研修
   (2) 国外における病院視察研修
5. 病院の経営・業務運営等の調査研究に関する事項
6. 医療制度ならびに病院関係諸法規の検討
7. 病院の資質向上に関する事項
8. 医療費是正に関する事項
9. 税制・金融・その他病院財政に関する事項
0.. 労務に関する事項
11.. 地域医療に関する事項
12. 厚生福利事業に関する事項
13. 公衆衛生活動に関する事項
    人間ドック・妊婦ドック・自動化健診ドック等の推進
14. 学術図書等の刊行に関する事項
15. 広報活動に関する事項
16. 日本病院会の組織強化に関する事項
17. 国際活動に関する事項
   (1) 国際病院連盟においては常任理事国としての活動
   (2) アジア病院連盟においては連盟会長としての活動
18. 政府その他関係団体との連けい強化に関する事項
19. その他目的達成に必要なる事項

昭和50年度会費額（案）

日本病院会

1. 基　本　料　　1病院　年24,000円
（月2,000円×12）

3. 病床別割当額

一般・精神病院　1床につき　120円

結核病院　1床につき　100円

但しいずれも上限を600床とする。

昭和50年度 日本病院会予算(案)

自　昭和50年4月1日
至　昭和51年3月31日

歳入の部

科目 款	項	目	予算額(円)	摘要
1. 会費			98,300,000	基本会費24,000円×2,200病院=52,800,000円 病床 〃 120×350,000床=42,000,000(一般・精神) 100× 14,000 = 1,400,000(結　核) (会員2,700病院 収納率85%として)
	1. 会費		98,300,000	
		1. 通常会費	96,200,000	
		2. 賛助会員会費	2,100,000	A 60,000×15　B 30,000×24　C 8,000×60
2. 事業収入			41,968,000	
	1. 購読料		2,300,000	
		1. 雑誌	1,300,000	送料、手数料
		2. ニュース	1,000,000	〃　〃
	2. 受講料		16,236,000	
		1. 定例研究会	2,140,000	500円×4,300名
		2. 内科臨床部会	96,000	3,000円×32病院
		3. 各地研究会	14,000,000	1日研究参加費 3,000円(会員) 4,000円(非会員) 2日 〃 5,000円(会員) 6,000円(非会員)
	3. 参加料		11,600,000	
		1. セミナー	10,500,000	病院長セミナー、事務長セミナー、総婦長セミナー、ICU・CCU
		2. 海外視察研究会	1,100,000	
	4. 部会費		11,832,000	
		1. 人間ドック部会費	3,432,000	12,000円×286病院
		2. 人間ドック指定料	1,200,000	60,000円× 20病院
		3. 人間ドック手帳代	7,200,000	160円×45,000部
3. 寄附金			1,000	
	1. 一般寄附金		1,000	
		1. 一般寄附金	1,000	
		2. 行事補助金	0	
4. 雑収入			10,060,000	
	1. 雑収入		10,060,000	
		1. 預金利息	1,000,000	
		2. 広告収入	6,300,000	雑誌5,300,000円 ニュース1,000,000
		3. 事務所費分担金	2,760,000	共済会1,200,000円 通信教育部960,000円 看護学校協議会600,000円
5. 繰越金			0	
	1. 繰越金		0	
		1. 前年度繰越金	0	
歳入合計			150,329,000	

歳 出 の 部

科目 款 項 目			予算額 円	摘要
1. 事務諸費			55,331,000	
	1. 職員給与費		36,101,000	
		1. 俸給	25,236,000	事務局員13名(昇給を含む)
		2. 諸手当	10,865,000	時間外、期末、通勤手当等
	2. 厚生費		2,580,000	
		1. 厚生費	100,000	
		2. 退職金	900,000	退職積立金
		3. 法定福利費	1,580,000	健保、厚生年金、雇用保険
	3. 旅費交通費		3,350,000	
		1. 旅費	1,790,000	比・台・韓・病院協会総会出席旅費
		2. 交通費	1,560,000	事務局員出張交通費
	4. 事務所管理費		6,500,000	
		1. 事務所賃借料	4,800,000	@400,000円×12ケ月
		2. 水道光熱費	120,000	
		3. 備品費	1,500,000	印刷・複写機・机・椅子
		4. 雑費	80,000	
	5. 需要費		5,800,000	
		1. 消耗備品費	50,000	
		2. 消耗品費	1,000,000	
		3. 印刷製本費	2,000,000	会員・役員名簿
		4. 公租公課	10,000	
		5. 通信運搬費	2,000,000	郵送料、電話料
		6. 借用及損料	40,000	
		7. 臨時職員費	50,000	
		8. 雑費	650,000	
	6. 交際費		1,000,000	
		1. 会長交際費	500,000	
		2. 一般交際費	500,000	
2. 会議費			20,884,000	
	1. 総会費		5,866,000	
		1. 総会費	5,866,000	年2回旅費、資料代、郵送料、会場費
	2. 役員会費		15,018,000	
		1. 常任理事会費	6,718,000	
		2. 理事会費	4,300,000	
		3. 代議員会費	4,000,000	
3. 事業費			69,601,000	
	1. 委員会		11,630,000	
		1. 各種委員会調査研究費	5,000,000	旅費、交通費、印刷費、資料代
		2. 社保関係調査研究費	500,000	
		3. ドック手帖印刷費	5,630,000	45,000部
		4. 会場借用費	500,000	
	2. 定例研究会		4,500,000	
		1. 旅費交通費	300,000	事務局員交通費
		2. 印刷製本費	1,500,000	資料
		3. 通信運搬費	1,000,000	案内状郵送費
		4. 謝礼金	200,000	講師
		5. 会場借用費	600,000	
		6. 委員会打合会費	900,000	

科目 款	項	目	予算額 円	摘要
	3. 各地域研究会		15,753,000	
		1. 旅費交通費	5,567,000	役員、演者、委員
		2. 印刷製本費	2,500,000	参加者名簿、資料、案内状
		3. 通信運搬費	2,300,000	案内状、電話料
		4. 謝礼金	1,000,000	講師、演者
		5. 会場借用費	1,500,000	
		6. 委員会・打合会費	2,486,000	
		7. 食事費	400,000	委員、演者、手伝者
	4. 海外視察研究会		1,000,000	
		1. 印刷製本費	200,000	パンフレット
		2. 通信運搬費	500,000	
		3. 会場費	50,000	発表会々場
		4. 打合会費	250,000	オリエンテーション
	5. セミナー		8,260,000	
		1. 討論会費	1,500,000	講師、委員、特別参加者
		2. 旅費交通費	800,000	講師、委員
		3. 印刷製本費	800,000	参加者名簿、資料、案内状
		4. 通信運搬費	960,000	案内状、電話料
		5. 謝礼金	2,500,000	講師
		6. 会場借用費	600,000	
		7. 委員会打合会費	500,000	
		8. 食事費	600,000	委員、演者、手伝者
	6. 資料整備費		500,000	
		1. 諸法規整備費	500,000	
	7. 広報費		22,458,000	
		1. 雑誌編集費	2,510,000	速記・委員会・雑誌2,110,000 ニュース400,000
		2. 印刷製本費	14,420,000	雑誌11,000,000 ニュース3,420,000
		3. 発送費	5,328,000	雑誌 2,280,000 ニュース3,048,000
		4. 取材費	200,000	雑誌 100,000 ニュース 100,000
	8. 学会費		3,000,000	
		1. 日本病院会学会	2,000,000	助成金
		2. 人間ドック学会	1,000,000	助成金
	9. 海外病院協会関係費		2,500,000	
		1. アジア病院連盟会議費	2,500,000	
4. 負担金			1,260,000	
	1. 負担金		1,260,000	
		1. 国際病院連盟	640,000	
		2. アジア病院連盟	500,000	
		3. 諸会費	120,000	日本経営協会、人事管理協会、国際看護交流協会
5. 予備費			3,253,000	
	1. 予備費		3,253,000	
		1. 予備費	3,253,000	
歳出合計			150,329,000	

日本病院会役員名簿

順不同

役職名	府県別	氏名	病院名
会長	愛知	阿久津　慎	名鉄病院
副会長	東京	小野田敏郎	佼成病院
〃	大阪	内藤景岳	総合病院南大阪病院
〃	三重	遠山　豪	遠山病院
〃	兵庫	大屋拳吾	神戸市立中央市民病院
常任理事	埼玉	左奈田幸夫	国立埼玉病院
〃	〃	藤岡萬雄	県立小原療養所
〃	千葉	渡辺　進	成田赤十字病院
〃	東京	野村秋守	野村病院
〃	〃	河野　稔	北品川総合病院
〃	〃	堀内　光	済生会中央病院
〃	神奈川	平野一弥	港北耳鼻咽喉科病院
〃	石川	奥田幸造	公立能登総合病院
〃	長野	小口源一郎	県立木曽病院
〃	静岡	細川一郎	静岡赤十字病院
〃	京都	榊田　博	日本バプテスト病院
〃	兵庫	小原知次郎	小原病院
〃	広島	岡田泰二	岡田病院
〃	福岡	菱山博文	福岡城南病院
理事	岩手	金子保彦	岩手県立中央病院
〃	宮城	安田　久	石巻赤十字病院
〃	山形	長谷川　功	山形県立中央病院
〃	福島	本宿　尚	公立藤田病院
〃	栃木	森　玄俊	森病院
〃	千葉	諸橋芳夫	国保旭中央病院
〃	東京	岡田敬蔵	都立松沢病院
〃	〃	小林　隆	日赤医療センター
〃	〃	牧田　中	牧田総合病院
理事	神奈川	小野　肇	汐見台病院
〃	新潟	中島　健	県立吉田病院
〃	福井	荒川　久	荒川外科病院
〃	山梨	島津寿秀	甲州中央温泉病院
〃	岐阜	藤掛　敏	藤掛第一病院
〃	静岡	横田政信	県立中央病院
〃	愛知	岡山義雄	岡山病院
〃	〃	余語栄三	余語病院
〃	三重	村田　清	市立伊勢総合病院
〃	滋賀	財津　晃	長浜赤十字病院
〃	大阪	小山三郎	大阪赤十字病院
〃	〃	林　秀雄	八尾市立病院
〃	〃	河崎　茂	水間病院
〃	〃	沢　潤一	さわ神経科病院
〃	〃	吉岡観八	新千里病院
〃	兵庫	宮地知男	宮地病院
〃	奈良	松本　功	西奈良中央病院
〃	和歌山	遠藤香苗	和歌浦中央病院
〃	山口	棟久一夫	県立中央病院
〃	福岡	杉岡直登	九州厚生年金病院
〃	長崎	岩永光治	十善会病院
〃	大分	徳岡三郎	大分県立病院
監事	神奈川	太田清一	太田総合病院
〃	茨城	久保泰平	茨城県立中央病院
議長	和歌山	堀口銀二郎	堀口整形外科病院
副議長	静岡	山田鉄三郎	浜松赤十字病院
代議員	北海道	田中瑞穂	留萌市立病院
〃	〃	嘉戸達也	浦河赤十字病院

役職名	府県別	氏名	病院名
代議員	北海道	上泉　清	ルカ病院
〃	青森	松田規六	国保黒石病院
〃	岩手	菊地　浩	県立一戸病院
〃	宮城	女川　浩	仙台赤十字病院
〃	〃	成川二郎	古川市立病院
〃	秋田	鶴浦有紀	鹿角組合病院
〃	〃	竹本吉夫	秋田赤十字病院
〃	山形	岡田泰衛	山形市立病院済生館
〃	〃	篠田秀男	篠田総合病院
〃	福島	伊藤　雄	公立岩瀬病院
〃	〃	星　源之助	総合会津中央病院
〃	茨城	三宅和夫	県西総合病院
〃	〃	金沢　孝	大洗海岸病院
〃	栃木	浅葉義一	国立塩原温泉病院
〃	〃	佐藤幹雄	佐藤外科病院
〃	群馬	戸部龍夫	県立がんセンター東毛病院
〃	〃	真木　実	真木病院
〃	埼玉	髙木紹夫	深谷赤十字病院
〃	〃	井上寿一	上福岡中央病院
〃	千葉	深町庫次	葛南病院
〃	〃	柏戸正英	柏戸病院
〃	東京	稲田龍一	都立墨東病院
〃	〃	中沢武雄	都立大久保病院
〃	〃	石山俊次	駿河台日大病院
〃	〃	河井　博	河井病院
〃	〃	名倉弓雄	名倉病院
〃	〃	髙山　瑩	髙山整形外科病院
〃	〃	伊藤邦彦	伊藤病院
〃	〃	前沢伯彦	東京前沢整形外科病院
〃	〃	野村益明	第一病院

役職名	府県別	氏名	病院名
代議員	神奈川	羽田正一	横浜市立市民病院
〃	〃	熊田正春	日吉病院
〃	〃	篠崎　功	篠崎病院
〃	新潟	鈴木　寛	県立津川病院
〃	〃	桑名昭治	桑名病院
〃	富山	越山健二	上市厚生病院
〃	〃	西能正一郎	西能整形外科病院
〃	石川	中野保二	県立中央病院
〃	〃	菊地　誠	金沢西病院
〃	福井	小坂政一	県立病院
〃	〃	相木七良右衛門	相木病院
〃	山梨	渡辺信夫	石和町国保峡東病院
〃	〃	髙山不二夫	髙山病院
〃	長野	鈴木辰四郎	長野赤十字病院
〃	〃	鳥羽増人	市立大町総合病院
〃	岐阜	桜井三郎	岐阜市民病院
〃	〃	山田実男	山田病院
〃	静岡	山田鉄三郎	浜松赤十字病院
〃	〃	中山耕作	聖隷浜松病院
〃	愛知	山崎健之	更生病院
〃	〃	湯浅敬之助	公立陶生病院
〃	〃	神谷八郎右衛門	神谷病院
〃	〃	大野道夫	刈谷豊田病院
〃	〃	市川勝美	光生会病院
〃	〃	河合　正	鳴海病院
〃	〃	伊藤　研	大雄会病院
〃	三重	沢井昭定	県立一志病院
〃	〃	町野良彦	永井病院
〃	〃	田中矩夫	田中病院
〃	滋賀	葛谷覚元	大津市民病院

役職名	府県別	氏名	病院名
代議員	滋賀	九谷 脩	九谷病院
〃	京都	塩津徳晃	公立南丹病院
〃	〃	中野 進	四条外科病院
〃	〃	国重正敬	富田病院
〃	大阪	野木一雄	大手前病院
〃	〃	長谷 広	市立北市民病院
〃	〃	矢野尾三郎	天王寺病院
〃	〃	中野博光	中野こども病院
〃	〃	大道 学	大道病院
〃	〃	加納繁美	加納病院
〃	〃	籔本秀雄	阪和病院
〃	〃	田中 治	東大阪病院
〃	〃	有沢源蔵	有沢病院
〃	兵庫	中 嘉一郎	市立芦屋病院
〃	〃	依藤省三	済生会兵庫病院
〃	〃	望月憲雄	姫路赤十字病院
〃	〃	芳野泰礼	西武庫病院
〃	〃	野村正行	野村病院
〃	〃	平野 明	共立会病院
〃	〃	多胡楡祐	多胡病院
〃	奈良	菊田捷二	済生会御所病院
〃	〃	南 溢	秋津鴻池病院
〃	和歌山	内藤行雄	和歌山赤十字病院
〃	〃	堀口銀二郎	堀口整形外科病院
〃	〃	中村了生	中村整形外科外科病院
〃	鳥取	北村常也	鳥取赤十字病院
〃	〃	野島鉄之助	野島病院
〃	島根	野手信哉	県立中央病院
〃	岡山	宮本祥郎	津山中央病院
〃	〃	藤原拓士	水島中央病院

役職名	府県別	氏名	病院名
代議員	広島	恒遠雄碩	三原赤十字病院
〃	〃	河村虎太郎	河村病院
〃	山口	吉富正一	山口赤十字病院
〃	〃	村田寿太郎	村田博愛病院
〃	愛媛	土屋定敏	松山赤十字病院
〃	徳島	大久保新也	大久保病院
〃	〃	鈴江襄治	鈴江病院
〃	高知	飯塚 治	高知市立市民病院
〃	〃	町田速雄	町田産研病院
〃	福岡	弓削静彦	大牟田市立病院
〃	〃	大北良輔	八幡製鉄所病院
〃	〃	井手一郎	聖マリア病院
〃	〃	原 安彦	原病院
〃	佐賀	鶴丸広長	県立病院好生院
〃	〃	山口弾之	至誠会病院
〃	長崎	三原 茂	長崎市立市民病院
〃	〃	福井 順	福井病院
〃	〃	桜田重夫	桜田病院
〃	熊本	宮川三男	荒尾市民病院
〃	〃	岡崎礼治	竜ケ岳町立上天草病院
〃	大分	武内玄信	県立療養所三重病院
〃	宮崎	泉谷武近	県立宮崎病院
〃	〃	船渡 護	県立延岡病院
〃	鹿児島	上高原勝美	鹿児島市民病院
〃	沖縄	比嘉 実	沖縄赤十字病院
〃	〃	城間祥行	泉崎病院